

| | | | | | | | | |
|---|---|------|-------------------|--|-------------|-----|-----|----|
| 授業科目 | 英語教科教育法Ⅱ | | | | 単位 | 2 | | |
| 履 修 | 選択 | 関連資格 | 中一種免(英語) 高一種免(英語) | | ナンバリング | 0 | | |
| 開講年次 | 3 | 開講時期 | 前期 | 該当DP | DP1-1 DP4-3 | | | |
| 担当教員 | 太田 かおり | | | | | | | |
| 授業概要 | 日本における英語教育の歴史的変遷を理解するとともに、さまざまな教授法の理論と特徴を概観する。授業形態の特徴や4技能(Listening/Speaking/Reading/Writing)の効果的な指導技術およびその統合に関して包括的な講義を行う。情報機器及び教材の活用方法について学び、実際の英語指導に活かせる知識と技術を身につける。また、小中高等学校における英語教育連携の在り方についても考察する。 英語教育学の分野における全体的な展望が得られるよう最新の研究成果を紹介し、教壇に立った時に役立つ理論と実践および指導技術を学ぶ。オンラインで授業を行う。 | | | | | | | |
| 学生が達成すべき行動目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語教師に求められる資質について説明ができる。 2. 日本における英語教育の歴史的変遷を理解することができる。 3. さまざまな教授法の理論を概観し、それらの特徴を理解した上で実際の英語指導に活かすことができる。 4. スピーキングの指導法について、理論面と実践面の両面で、重要なポイントが説明できる。 5. リスニングの指導法について、理論面と実践面の両面で、重要なポイントが説明できる。 6. ライティングの指導法について、理論面と実践面の両面で、重要なポイントが説明できる。 7. リーディングの指導法について、理論面と実践面の両面で、重要なポイントが説明できる。 8. 4技能の統合指導法について、理論面と実践面の両面で、重要なポイントが説明できる。 9. 電子黒板やパソコン等の情報機器及び教材の活用方法について学び、授業において効果的に使用できる。 | | | | | | | |
| 達成度評価 | | | | | | | | |
| 評価と評価割合／ 評価方法 | 試験 | 小テスト | レポート | 発表(口頭、プレゼンテーション) | レポート外の提出物 | その他 | 合計 | 備考 |
| 総合評価割合 | 0 | 0 | 40 | 0 | 20 | 40 | 100 | |
| 知識・理解 (DP1-1) | | | 40 | | | | 40 | |
| 知識・理解 (DP1-2) | | | | | | | | |
| 知識・理解 (DP1-3) | | | | | | | | |
| 知識・理解 (DP1-4) | | | | | | | | |
| 思考・判断 (DP2-1) | | | | | | | | |
| 思考・判断 (DP2-2) | | | | | | | | |
| 関心・意欲 (DP3-1) | | | | | | | | |
| 関心・意欲 (DP3-2) | | | | | | | | |
| 態度(DP4-1) | | | | | | | | |
| 態度(DP4-2) | | | | | | | | |
| 態度 (DP4-3) | | | | | 20 | 40 | 60 | |
| 技能・表現 (DP5-1) | | | | | | | | |
| 技能・表現 (DP5-2) | | | | | | | | |
| 技能・表現 (DP5-3) | | | | | | | | |
| 具体的な達成の目安 | | | | | | | | |
| 理想的レベル | | | | 標準的なレベル | | | | |
| 学んだことを、自分のことばで他の人に分かりやすく説明できる。 また、その実践方法について具体的に考えることができる。 | | | | <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語教師に求められる資質について説明ができる。 2. 日本における英語教育の歴史的変遷を理解し、説明できる。 3. さまざまな教授法の理論を概観し、それらの特徴を理解した上で実際の英語指導に活かすことができる。 | | | | |

| | | 4. スピーキングの指導法について、理論面と実践面の両面で、重要なポイントが説明できる。 5. リスニングの指導法について、理論面と実践面の両面で、重要なポイントが説明できる。 6. ライティングの指導法について、理論面と実践面の両面で、重要なポイントが説明できる。 7. リーディングの指導法について、理論面と実践面の両面で、重要なポイントが説明できる。 8. 4技能の統合指導法について、理論面と実践面の両面で、重要なポイントが説明できる。 9. 電子黒板やパソコン等の情報機器及び教材の活用方法について学び、授業における効果的な活用を説明できる。 | | |
|------|---|---|-------------|------------|
| 授業計画 | | | | |
| 進行 | テーマ・講義内容 | 授業の運営方法 | 学習課題(予習・復習) | 予習・復習時間(分) |
| 1 | 1 英語教科教育法Ⅱの授業ガイダンス 授業概要を説明し、達成目標、評価内容や方法について説明する。英語科教育の目的、英語教師の資質について考え、話し合いを通して互いの意見を深める。 | オンライン授業 | 復習: 該当部分の復習 | 100 |
| 2 | 2 英語教育の歴史と変遷／研究課題①(討論とまとめ) | オンライン授業 | 予習: 該当部分の予習 | 100 |
| 3 | 3 英語教授法の理論と実践／研究課題②(討論とまとめ) | オンライン授業 | 予習: 該当部分の予習 | 100 |
| 4 | 4 「音声」・「文字」・「文法」・「語彙」の指導法と留意点／研究課題③(討論とまとめ) | オンライン授業 | 予習: 該当部分の予習 | 100 |
| 5 | 5 授業形態の特徴と留意点／ALT 等とのチーム・ティーチングについて／研究課題④(討論とまとめ) | オンライン授業 | 予習: 該当部分の予習 | 100 |
| 6 | 6 教師の役割と学習者の実態／教育実習の目的と留意点／研究課題⑦(討論とまとめ) | オンライン授業 | 予習: 該当部分の予習 | 100 |
| 7 | 7 Listening の指導法と留意点(討論とまとめ) | オンライン授業 | 予習: 該当部分の予習 | 100 |
| 8 | 8 Speaking の指導法と留意点(討論とまとめ) | オンライン授業 | 予習: 該当部分の予習 | 100 |
| 9 | 9 Reading の指導法と留意点(討論とまとめ) | オンライン授業 | 予習: 該当部分の予習 | 100 |
| 10 | 10 Writing の指導法と留意点(討論とまとめ)／研究課題⑧ | オンライン授業 | 予習: 該当部分の予習 | 100 |
| 11 | 11 評価の種類と方法／テスト問題を作成する場合の留意点／研究課題⑤(討論とまとめ) | オンライン授業 | 予習: 該当部分の予習 | 100 |
| 12 | 12 クラスルームマネジメント(討論とまとめ) | オンライン授業 | 予習: 該当部分の予習 | 100 |
| 13 | 13 教科書と教材分析／CLIL 内容重視型授業／研究課題⑨(討論とまとめ) | オンライン授業 | 予習: 該当部分の予習 | 100 |
| 14 | 14 総括 | オンライン授業 | 予習: 該当部分の予習 | 100 |

| | | | | |
|-----------------------|---|--|--|--|
| 15 | | | | |
| 16 | | | | |
| 17 | | | | |
| 18 | | | | |
| 19 | | | | |
| 20 | | | | |
| 21 | | | | |
| 22 | | | | |
| 23 | | | | |
| 24 | | | | |
| 25 | | | | |
| 26 | | | | |
| 27 | | | | |
| 28 | | | | |
| 29 | | | | |
| 30 | | | | |
| 理解に必要な予備知識や技能 | 英語教科教育法Ⅰで学んだ知識や技能。 | | | |
| テキスト | 文部科学省『中学校学習指導要領解説 外国語編』(2016) 文部科学省『高等学校学習指導要領解説 外国語編』(2015) その他、教員が適宜に資料を配布する。 | | | |
| 参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介 | 文部科学省『中学校学習指導要領』(2016) 文部科学省『高等学校学習指導要領』(2015) その他、高校総合英語の参考書を一冊持参すること。 | | | |
| 授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ | 1. 英語力強化を目指し、継続的に英単語力・英文法力・構文力を身につけるように努めること 2. 毎回、次時の講義で取り扱われる範囲の内容を事前に熟読の上、教科書を予習して来ること 3. 英語教育に関する新聞記事や時事問題には日頃から敏感になり、情報収集に努めること 4. 英語教師としての資質を磨き高めるため、日頃から自己研鑽に努め、ボランティア活動や英語指導には積極的に参加すること | | | |
| 達成度評価に関するコメント | ①レポート(40%)・・・期末課題レポート ②レポート以外の提出物(20%)・・・毎回の授業の最後に提出する出席確認フォーム ③その他(40%)・・・研究課題・口頭発表・討論の積極性 ※①～③を総合的に評価する。 | | | |

